

【車椅子の種類と内容を知りたいです】

- ★ 車椅子には、標準型、モジュール型、リクライニング・テルト型、電動型があります。

1 標準型

- ・ 一般的によく見られるタイプの車椅子
- ・ サイズの自由度はあまり多くない、シンプルでリーズナブル

① 自走式

- ・ 利用者が自分で操作（ハンドリムを駆動等）するタイプ
（介助者に押しってもらうこともできます。）

② 介助式

- ・ 主に介助者が押すことによって動かすことのできる車椅子
（ハンドルには介助用ブレーキがついています。）
- ・ 自走式に比べて後輪が小さくでき小型で小回りが利く
- ・ 軽量で持ち運びにも便利な場合が多い

2 モジュール型

- ・ 一人ひとりにマッチした一台
- ・ 究極はオーダーメイド
- ・ 身体状況等が変化した場合に、対応するのが難しい
- ・ 利用者の体格や使用方法等に合わせ、座面の高さ、背の角度等の調節が可能
- ・ 身体状況の変化に従ってある程度の調整

3 リクライニング/ティルト型

- ・ 身体のバランスが悪く座位姿勢を保持できない方、褥瘡（床ずれ）がある場合などに、姿勢を変え積極的に体圧の分散を行いたいときに利用

① ティルト式

- ・ 座面と背の角度が同じ状態で車椅子全体を傾けるティルト機能付き

② リクライニング式

- ・ 背シート部分がリクライニング（後方に倒せること）
- ・ 長時間の座位姿勢保持が困難な方、高齢の方向き（リクライニングの途中ですべり座りに注意が必要です。）

4 電動型

- 電気モーターで駆動する車椅子
- スティックの操作だけで自走できる自走式と介助者の負担を軽減するための介助式
- 家庭用電源で簡単に充電
- 総重量が20キロ以上
(駆動ユニットを後から取り付けることができる場合もあります。)